

学級活動学習指導案（1年3組）

令和3年10月8日（金曜日）13:30～14:20 1の3教室

1 題材 30歳になった自分を思い描こう

2 題材設定の理由

(1) 題材観

①学習指導要領上の位置付け

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ウ 主体的な進路の選択と将来設計

②題材設定の理由

本題材は、現在の自分は目標に近付けているのかを振り返り、30歳になった将来の自分を見通すことで、今後の自己の具体的な実践課題を決めて自己実現を図ろうとする態度を育むことができる内容となっている。

学校教育におけるキャリア教育の重要性が見直されている今日、中学校においては、社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等について考えさせ、進路の選択・決定へと導くことが大切である。中央教育審議会答申の「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」において、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度が示されている。中学校の段階は現実的探索と暫定的選択の時期であり、学級活動や学校行事をはじめ、生徒はあらゆる学習や活動を通じてキャリア発達をしていく。また、学習指導要領解説 特別活動編の内容の取扱い(2)において、「生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること」と述べられているように、学校・家庭・地域等での諸活動を経て自分はどれだけ成長しているのかを振り返ることで、先を見通せるよう記録を残していくことが大切である。昨年度より始まったポートフォリオ的教材であるキャリア・パスポートは、学校ごとにアレンジを利かせることが可能であり、本題材では大谷翔平選手も活用した「曼荼羅シート」を使い、先の見通しをもって、今後どのようなことに取り組むのか具体的な実践課題を意思決定することができる。

本授業に入る前に、5月に実践した「なりたい自分になるために現在の自分を見つめよう」で生徒が思い描いた将来、掲げた目標に対する実践を事前に振り返ることで、将来の思い描き方や自身の行動について省みさせる。改めて将来を思い描き、実践課題を掲げるが、本授業では、大人からの助言やインタビュー動画を参考にしながら曼荼羅シート上に記述をさせる。そして、曼荼羅シートと大人の助言を共有しながら思い描く将来の自分を見直し、思い描く将来の自分に近づくための現時点での自己課題を友達と共有しながら模索することを通じて、生徒は今後の実践課題を意思決定することができる。

(2) 生徒観（男子16名、女子18名 計34名）

本学級の生徒は、入学して1学期間を過ごす中で、各教科の学習に真摯に取り組み、様々な学校行事に対して意欲的に取り組むことができていた。「なりたい自分になるために現在の自分を見つめよう」というキャリア・パスポートを活用した授業では、小学校6年生時代を想起して、現在の自分が頑張っていることや課題点を把握し、今後何を頑張っていくか意思決定した。しかし、その意思決定した内容を見ると、浅いものや一面的な考えのみが反映された記述が見受けられた。また、8月に「掲げた目標を達成するために現在頑張っていますか」というアンケートを実施したところ、生活や学習につなげて頑張っていないと回答をしている生徒が見受けられた。これらのことから、将来の思い描き方が不十分であることや先の見通しをもって現在の自分を振り返り活動に取り組めていないということなどの課題が浮き彫りとなった。加えて、生徒たちは12月に「職業人講話」を控えている。この貴重な時間を、単に職業人から講話を聞くだけでなく生徒が自分事に置き換えて講話を聞いたり、働くことや社会人になることがどういふことなのかイメージをもって質問ができるようにしたりして、職業観と社会観を広げられるようにしたい。

このような実態から、自分の将来の思い描き方や課題に対する取り組みを振り返り、友達や大人の助言を取り入れながら実践課題を模索して、「30歳の自分」に向けてどのようなことに取り組んでいくのか意思決定させる。そして、本題材を通じて生徒一人一人が社会的自立、職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を育みたい。

3 指導と評価の計画（別紙参照）

4 本時の展開

(1) ねらい

現在の自分は目標に近付いているのか振り返り、30歳になった将来の自分を見通すことで、今後の自己の具体的な実践課題を決めて自己実現を図ろうとする態度を育むことができる。

(2) 展開

生徒の活動	目指す生徒の姿及び指導上の留意点
<p>1 課題の把握</p> <p>○30歳になった自分の思い描き方とこれまでの実践について振り返り、課題意識をもつ。</p> <p>〔・5月に書いた「なりたい自分」は浅かったな。大人からもらった助言を基に見直さなきゃだな。〕</p>	<p>○5月に記入した「なりたい自分」の内容を振り返り、将来の思い描き方や掲げた目標に対するこれまでの取り組みがどうであったか振り返ることで、これまでの生活や取組について課題意識をもたせられるようにする。</p>
<p>課題：現在の自分の課題を把握し、30歳の自分に向けて何をしていくべきかを考えよう。</p>	
<p>2 可能性への気付き</p> <p>○大人からの助言をグループで共有する。</p> <p>〔・お父さんが、挨拶や返事といった基本的なことは大人になっても大切にしてほしいって言ってたよ。〕</p> <p>○全体で大人からの助言を共有し、思考を拡散する。</p> <p>〔・お金も大事だけど、温かみのある人間関係を築くことも大切だな。〕</p> <p>○インタビュー動画を視聴し、気付きを明確にする。</p> <p>〔・仕事やお金のことばかりではなく、人間関係の面を豊かにできるようにしなきゃだな。〕</p>	<p>○大人からの助言をグループで共有することで、将来の思い描き方や今後の取組について多様な視点から情報が捉えられるようにする。</p> <p>○タブレット端末を活用し、グループだけでなく、多くの大人からの助言を閲覧できるようにすることで、多様な助言に触れ、社会人になる上で大切なことに気付けるようにする。</p> <p>○得られた情報を基に、思い描いた30歳の自分を見直すことで、自分一人では気付けなかった現在の自分の課題を明確化できるようにする。</p>
<p>3 解決方法等の話し合い</p> <p>○30歳の自分に向けて実践課題を模索する。</p> <p>個人</p> <p>〔・これまでを振り返ると、挨拶があまりできていなかった。今後は誰よりも大きな声でやっていきたい。〕</p> <p>〔・好き嫌いせずに取り組み姿勢がなかったから、何事にも好奇心をもって取り組んでみようかな。〕</p> <p>グループ</p> <p>〔・温かみのある人間関係を築くため、「ありがとう」って言うことを心がけるのも大切だと気付けたよ。〕</p>	<p>○キャリア・パスポートを見返すことで、現在の自分の生活や活動への取組などを振り返られるようにする。</p> <p>○大人からの助言を踏まえ、これまでの自分を想起しながら考えることを促すことで、今後取り組むべき課題を模索できるようにする。</p> <p>○グループで考えや意見を共有し、課題を解決するためには様々な取り組み方があることを知ることで、今後実践していくことを意思決定する際に生かせるようにする。</p>
<p>4 個人目標の意思決定</p> <p>○「30歳の自分に向けて」を記入する。</p> <p>〔・現在の自分の課題が見えてきたぞ。職業のことを調べたり、友達との関わり方を見直したりしていきたい。〕</p> <p>○教師の話を聞く。</p> <p>〔・今日は大人からの助言をたくさん得られたぞ。〕</p> <p>〔・先生の年齢でも、将来設計は大切なのだな。〕</p> <p>〔・今回の授業で決めたことを今後の生活で実践して、少しでも将来の夢に近付けるように頑張るぞ。〕</p>	<p>○再度、今日までの自分を振り返らせ、本時の活動で得た情報を基に「30歳の自分に向けて」を記入するよう促す。</p> <p>○教師の達成シートを提示することで、身近な大人も目標を立てて生活していることを知ることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>30歳になった自分を思い描くことを通じ、これまでの自分を振り返り、見いだした課題を基に具体的な今後の実践課題を記述できている。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート)</p>
<p><生徒の姿></p> <p>・多くの人に信頼される医者になってるといいな。そのために学習はもちろんのこと、誰よりも大きな声で挨拶したり清掃に一生懸命取り組んだりして、他者意識をもった生活を心がけるぞ。</p>	
<p><「学びの質」を高めるための具体的な手立て></p> <p>・キャリア・パスポートを教材とした自己の成長や変容を振り返る場の設定</p> <p>・ICTを利用した学びの蓄積と共有</p>	

ねらい	現在の自分は目標に近づいているのか振り返り、30歳になった将来の自分を見通すことで、自己の具体的な実践課題を決めて自己実現を図ろうとする態度を育むことができる。			
評価規準	<p>【よりよい生活を築くための知識・技能】 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解し、現在の学習と将来とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。</p> <p>【集団や社会の形成者としての思考・判断・表現】 自分らしい生き方の実現に向けて、現在の学習や将来の進路についての課題を見だし、働くことや社会に貢献することについて、自己の将来について適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くことができる。</p> <p>【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】 将来の生き方を見通し、これまでの生活や学習を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を理解し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。</p>			
過程	日時	学習活動	指導上の留意点	評価項目 (方法・観点)
事前の活動	8月27日(金) 6校時 9月17日(金) 6校時	<p>1. 掲げた目標と実践を振り返る。 ○5月に記入した「なりたい自分になるために」を見返して、これまでの自分を振り返る。</p> <p>2. 目標を立てるものの意義を理解し、曼荼羅シートを作成する。 ○先の見通しをもって生活することの大切さを実感するために、曼荼羅シートを作成する。</p>	<p>☆「掲げた目標を達成するために現在頑張っているか」のアンケート結果を提示し、課題意識をもたせる。</p> <p>☆有名選手の曼荼羅シートや大人の助言を参考にさせることで、様々な要因が目標の達成につながることを自覚させる。</p>	<p>【よりよい生活を築くための知識・技能】 社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解し、現在の学習と将来とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。(観察)</p>
本時の活動	10月8日(金) 3校時	<p>3. 将来の思い描き方や実践課題を見直す。 ○思い描いた30歳の自分を見直すように、大人からの助言を友達と共有する。</p> <p>4. 30歳の自分に向けて実践課題を模索する。 ○思い描いた将来の自分に近づくために取り組むべきことを、グループで共有しながら模索する。</p> <p>5. 思い描いた将来の自分に近づくために、今後取り組む具体的な実践課題を意思決定する。</p>	<p>☆思い描いた30歳の自分を見直すようにさせることで、一人では気付かなかった自己の課題を明確にできるようにする。</p> <p>☆課題を達成するためには様々な取り組み方があるということに気付かせることで、今後実践していくことを意思決定する際に生かせるようにする。</p>	<p>【集団や社会の形成者としての思考・判断・表現】 自分らしい生き方の実現に向けて現在の学習や将来の進路についての課題を見だし、働くことや社会に貢献することについて、自己の将来について適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くことができる。 (ワークシートの記述)</p>
事後の活動	10月11日(月) 朝の会 11月26日(金) 4校時	<p>6. 決めたことを実践する。 ○ロイロノートに曼荼羅シートを保存し、適宜見返しながら生活を送るようにする。</p> <p>7. 実践経過を振り返る。 ○曼荼羅シートを見返しながら、これまでの自分の取組を振り返る。</p>	<p>☆設定した目標を意識しながら生活することを促すことで、実践する意欲を定着させる。</p> <p>☆曼荼羅シートを作成してから実践がどうだったかを振り返ることで、よりよく生活しようとする態度を育む。</p>	<p>【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】 将来の生き方を見通し、これまでの生活や学習を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を理解し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。 (ワークシートの記述)</p>

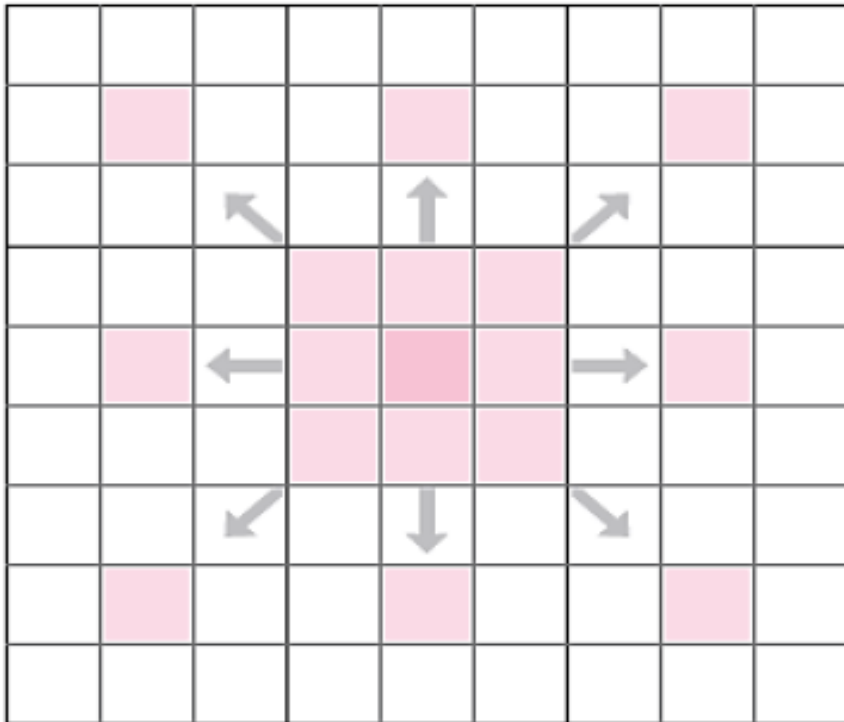
30歳になった自分を思い描こう！

組 番 氏名 ()

○5月に書いた「なりたい自分になるために」を見返して、感想を書こう。

○目標達成シートを書く前に、大人からアドバイスをもらおう。

○完成した目標達成シートを大人に見てもらい、アドバイスをもらおう。



30歳の自分に向けて・・・